

岐阜県立大垣養老高等学校

学校長 田中 治

学校住所 養老郡養老町祖父江向野1418-4 電話 0584-32-3161

- 1 会議の名称** 平成29年度 大垣養老高等学校 第2回学校評議員会
- 2 会議の構成**

委員	伊藤 勝代	岐阜県女性農業経営アドバイザー
	西脇 正博	特別養護老人ホーム白鶴荘施設長
	水野 成人	保護司、元泉地区長
	無藤 浩美	元本校PTA役員
	安江 和仁	大垣共立銀行支店部情報渉外課課長
		(委員名は五十音順)
オブザーバー	林 新太郎	同窓会長
	長屋 道幸	PTA会長
学校側	田中 治	校長
	森田 英明	教頭
	谷 基	教頭
	牧野 雅則	事務部長
	水野 泰孝	教諭(教務主任)
	野田美奈子	教諭(生徒指導主事)
	田中 賢	教諭(進路指導主事)
	高橋 百合	教諭(総合学科主任)
	箕浦 誠	教諭(農場長)
	小野 卓也	教諭(寮務主任)
- 3 会議の目的** 大垣養老高校について地域を代表する方々から学校運営・改善のための意見をいただき、地域からの支援・協力のもと、地域に根ざし、特色と活力のある学校づくりを推進する。
- 4 会議の開催** 平成30年 1月22日(月) 9:00~11:00
岐阜県立大垣養老高等学校 会議室
委員4名、オブザーバー1名、学校側9名が出席
- 5 会議の概要**
 - 生徒発表 海外体験研修報告
 - 総合学科 商業クラブ、家庭クラブ、Sクラブ
 - 農業科 JA農業教育支援事業指定研究
 - 生産科学科 } ポスター発表
 - 食品科学科 }
 - 環境園芸科 }
 - 学校関係者評価委員会(学校自己評価)
 - 意見交換

(1) 生徒発表の感想等

- 意見1 今日的課題を的確に捉え研究に取り組んでいる。また、自信をもって課題解決に取り組む姿勢に好感がもてる。
- 意見2 「どう作るか」と「どう売るか」を両面から実践しているところが素晴らしい。今後も、マーケティングや行動経済の考えをベースに商品開発するとよい。
- 意見3 社会問題を地域の課題として捉え、スクミリンゴガイ駆除に用いる植物由来原料の研究、さらに「食」へつなげていく総合的な観点から取り組んでおり、大変素晴らしい。

(2) 本校の教育活動への提言等

- 意見1 宮の森公園の剪定など地域との交流活動を今後も継続してほしい。交流をすることによって高校生が地域に溶け込み、地域に生きる人材の育成につながるのではないかな。
- 意見2 MSリーダーズと連携する事業があったが、生徒の皆さんは元気で生き生きとしていた。地域に根ざした活動を伝統とし、素晴らしい校風を築きあげてほしい。
- 意見3 国際理解教育のため、海外体験研修を実施していることは大変よい。高校生のうちにグローバルな視野を身に付け、コミュニケーション能力を高めることは、今後の人生にとって大変有意である。ぜひとも本事業を推進してもらいたい。
- 意見4 毎年着実に学校としての力がレベルアップしていることに感激している。これからの大垣養老高校がますます楽しみである。
- 意見5 生徒によるアンケート結果から、校内美化に対する満足度が少々低いと感じる。予算に限りはあるが、学習環境を整え、さらに素晴らしい学校としてほしい。
- 意見6 約90%の生徒が、「入学できてよかった」とアンケートで答えている。これは、先生方の指導のたまものであり、感謝申し上げたい。

6 会議のまとめ

生徒発表に対しては、研究の視点から手法にわたる広範なアドバイスをいただき、今後の研究活動に資する大変貴重な機会となった。また、本校の教育活動に対しては、地域連携や国際理解教育の推進、人材育成や環境整備について指針となるご意見をいただくことができた。

今後は、地域に根ざし、特色と活力のある学校づくりをさらに推し進め、西濃地区唯一の総合学科、農業科併置校としてのメリットを十分発揮した教育活動の充実に努めていきたい。